



第42代理事長
石井士朗

- 副理事長
石井 晃
早田 秀登
村田 泰章
櫛田 守邦
- 専務理事
金井 孝史
- 事務局長
櫻井 幸広
- ひと活性室長
蘆原 良夫
- まち活性室長
渡辺 徹
- パートナーシップ特別委員長
清水 雅巳
- 経営開発委員長
堀江 守義
- 会員研修委員長
角田 明正
- 文化財パトロール隊長
上武 敬和
- マラソンまちづくり推進委員長
大熊 学
- 監事
地 斎 和雄
阿部 晋悟
赤間 透
- 特別理事
松村 毅

【スローガン】
**心の規範を持ち
示そう責任ある行動を**

○会員数 87名
○年会費 120,000円

前年度創立40周年という節目の年を終え、足利JCの今後10年を見据えた未来ビジョンの実現、また創立50周年へ向けてのスタートの年であった。

スローガン「心の規範を持ち 示そう責任ある行動を」を掲げ、足利JCが数年に渡り取り組んできた事業の成就、社会人・経済人としての知識・技術の習得、今後の足利JCを支える人材の育成を主として活動。

2月例会としてプロゴルファー中島常幸氏をお招きし「白球に学ぶ」～自己との戦い～を開催。

また、創設時より5月3日に行われていたマラソン大会が11月に変更になり新設の陸上競技場で開催され、例会出席率も100%を達成した。

そして足利JCが永年培ってきたまちづくり活動の集大成ともいえる組織、特定非営利活動法人(NPO)足利まちづくりセンターVAN-NOOGAと足利まちづくり株式会社がこの年設立された。



足利JCの主な出来事

- ◆中島常幸(プロゴルファー)氏講演
例会「白球に学ぶ」開催
- ◆公開例会「この時代・このまちに共に生きる」
(仮称)足利まちづくりセンター
VAN-NOOGA 説明会開催
- ◆足利まちづくりセンター
VAN-NOOGA設立される
- ◆足利まちづくり株式会社設立される



足利市の主な出来事

- ◆総合窓口化に向けて、市民課窓口業務を拡大
- ◆中部クリーンセンターを廃止
- ◆陸上競技場が完成
- ◆足利渡良瀬ウォーターパークがオープン
- ◆小俣処分場が完成
- ◆栃木県・足利市総合防災訓練を実施



足利渡良瀬ウォーターパークがオープン



陸上競技場が全面改修

この年の代表的なニュース

- ◆東海村で国内初の臨界事故
- ◆臓器移植法による初の脳死移植
- ◆失業率過去最高、中高年の自殺急増
- ◆神奈川県警で組織ぐるみの不祥事隠し
- ◆欧州単一通貨ユーロが誕生

☆流行語

「ブッチホン」、「リベンジ」、「雑草魂」、
「学校(級)崩壊」

☆流行歌

- ・ Automatic/time will tell
(宇多田ヒカル)
- ・ だんご3兄弟
(速水けんたろう、茂森あゆみ他)